

一般財団法人日本 LCIF 主催 全国特別支援学校フットサル大会 四国大会等開催マニュアル

一般財団法人 **日本LCIF**

少年に夢と希望を

我が国の少年が「夢」「希望」を失うことなく、高い志を持ち続け、次代を担うものとして、思いやりの心を持って、自立していくことができるよう、全国のライオンズクラブが結集して、少年の健全育成に資する事業を継続的に行うことが重要です。



児童虐待

児童養護施設
児童への学習支
援「寺子屋」事
業の実施

障がい児

特別支援学校
フットサル大会
全国大会の開催
事業の実施

小中学生

小中学校
薬物乱用防止
事業の充実

第1回全国特別支援学校フットサル大会四国大会 実施要項

- 1 目的 本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接し、もって広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的に開催します。
- 2 名称 第1回全国特別支援学校フットサル大会四国大会
- 3 主催 一般財団法人日本 LCIF
- 4 共催 一般社団法人四国サッカー協会
- 5 主管 一般社団法人愛媛県サッカー協会
- 6 後援 全国特別支援学校長会 徳島県教育委員会（予定）、高知県教育委員会（予定）、愛媛県教育委員会（予定）、香川県教育委員会（予定）、愛媛県障がい者スポーツ協会（予定）
- 7 開催期日 2021年7月3日（土）
- 8 競技会場 ツインドーム重信（愛媛県東温市西岡甲1367番地）
- 9 参加資格
 - （1）特別支援学校毎の参加とすること。
 - （2）合同チームの場合は、「A 特別支援学校・B 特別支援学校」等の学校名で編成すること。
合同チームの条件
選手数が不足している特別支援学校の複数チームによる「合同チーム」の大会参加を認めません。ただし、本大会の趣旨を重視し、勝利至上を目的とする合同ではないこと、5名以上の選手を有する学校同士ではないことを条件とします
- 10 参加人員
1校のチームは、生徒3～8名、引率1～2名、計4～10名で編成すること。
- 11 競技方法
 - （1）参加チーム数により分けられたグループ毎にリーグ戦を行い、各グループ1位チームで決勝戦を行う。
 - （2）順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は勝3、分1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
当該チーム内の対戦成績
当該チーム内の得失点差
当該チーム内の総得点数
グループ内の総得失点差
グループ内の総得点数
 - （3）試合時間は20分（前・後半10分）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムは5分間（前半終了から後半開始まで）とする。

但し、チーム数により試合形式・試合時間は変更します。

12 競技規則

- (1) 2020/2021JFA フットサル競技規則による。また、本大会の競技会規程を下記の通り定める。
- (2) ボールはフットサルボール4号球を使用する。
- (3) 選手の交代は自由である。
- (4) 交代時は、ピッチ内の選手が完全にピッチの外に出てから、次の選手がピッチ内に入る。
- (5) キックインはボールがピッチから出た地点のタッチライン上から静止したボールを蹴る。
- (6) キックオフ、キックインから直接ゴールは出来ない。直接ゴールした場合は、ゴールクリアランスから再開する。
- (7) キックイン、フリーキック等により再開する際は、相手選手は5m以上離れる。
- (8) ファイブファウルを適用しない。
- (9) 安全面を考慮し、対人場面でのスライディングタックルを禁止する。
なお、スライディングタックルがあった際は、その場から直接フリーキックにて再開する。
- (10) バックパスルールは適用しない。
- (11) 退場処分は、レッドカードもしくは1試合2度のイエローカードによるものとするが、次の試合には累積しない。退場後の選手の補充は競技規則に則るものとする。
- (12) 出場選手は必ずレガースを着用することとする。
- (13) ネックレス、指輪、ピアスなどの装飾品をテープ等で覆うことを禁止とする。
- (14) ヘッドギアやフェイスマスク、膝や肘のサポーターは柔らかくパッドの入ったものとする。
- (15) 眼鏡を着用する際は、スポーツメガネ、又はゴーグル等でカバーすること。いずれの場合もチームの第1試合の前に大会本部の承認を得ることとする。
- (16) ベンチには大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。

13 競技者の用具

(1) ユニフォーム

本大会実施年度のJFAユニフォーム規程による。

ユニフォームが準備できない場合、又は両チーム同色の場合は、大会本部が用意したビブスの着用により対処する。

但し、準備できない場合は大会事務局までご相談ください。

(2) シューズ

キャンパス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

(3) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

交代時ビブスの受け渡しはしませんが、選手数用意してください。

但し、準備できない場合は大会事務局までご相談ください。

(4) レガース

出場選手は必ずレガースを着用することとする。

14 組み合わせ

一般社団法人愛媛県サッカー協会において抽選の上決定する。

15 表彰

優勝、準優勝のチームを表彰する。優勝および準優勝チームには盾を授与する。

大会で優勝した学校は、2021年11月6日(土)北海道で開催の全国特別支援学校フットサル大会

に出場する。(なお、都合により出場できない場合は、準優勝等の学校が出場する。)

16 参加申込

(1) 参加チームは、参加申込書に必要事項を記載し、プライバシーポリシー同意書にチーム代表者の捺印したもの(PDF)を愛媛県サッカー協会宛てにメールにて提出すること。

17 参加料

無料とする。

18 経費

(1) 大会開催地までの移動に係る合理的な往復交通費は、予算の範囲内で助成する。

(2) 大会会場から遠隔にある学校は、前泊及び後泊の宿泊費を助成する。

事前にご連絡ください。

(3) 地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

19 傷害補償

チームの責任において、傷害保険に加入すること。

20 代表者会議

2021年7月3日(土)9時 大会会場

21 弁当について

弁当についての斡旋は行わない。

22 個人情報保護について

本大会における選手登録情報等の個人情報については、本大会業務遂行の目的のみに使用する。

23 その他

(1) WBGT(熱中症指数)の値により飲水時間又はクーリングブレイクを両チーム、審判団、マッチコミッショナーと協議し、下記のとおり、実施する。

WBGT(熱中症指数)が28以上に達した場合は飲水時間を設ける。

WBGTが31以上の場合は、クーリングブレイク(3分)を設ける。

(2) コロナウィルスの感染対策は、一般社団法人愛媛県サッカー協会の感染対策ガイドラインに沿った対応をする。チーム及び関係者、大会役員・スタッフは、健康チェック表を当日大会本部に提出すること。

(3) その他、疑問、不測の事態等が生じた場合には、各会場の競技委員の指示に従うこと。

【その他特記事項】

新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者全員の健康チェックシートの提出及び当日の体温測定を行う予定です。(別途お知らせします。)

新型コロナウイルスの感染・拡大の影響等によっては、大会の開催方法等を変更、あるいは開催を延期・中止する場合があります。